

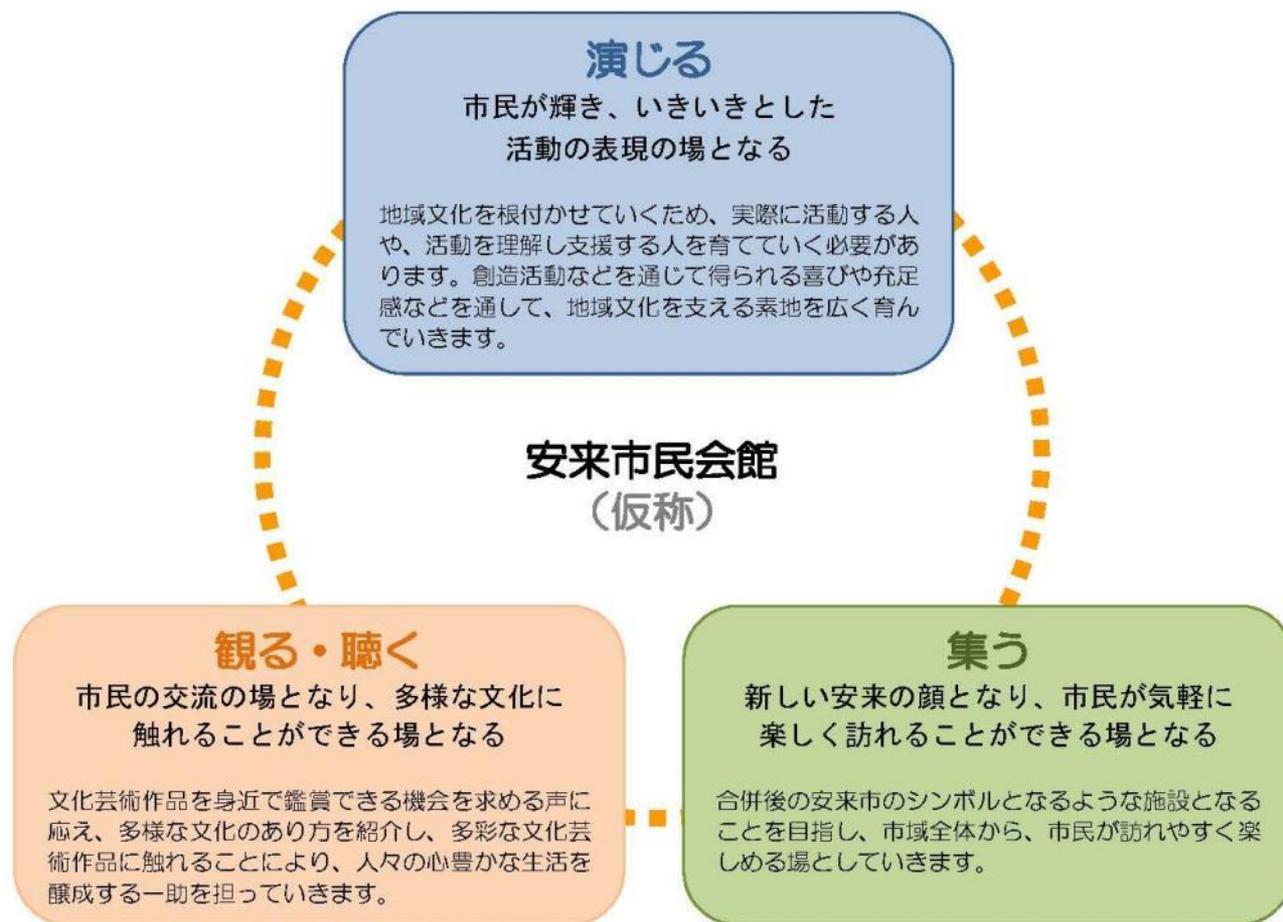
安来市民会館(仮称)基本設計概要書

平成26年3月



(1) イメージパース: 北東方向からの鳥瞰

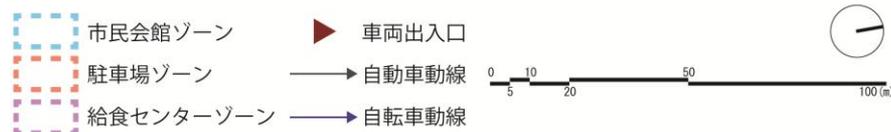




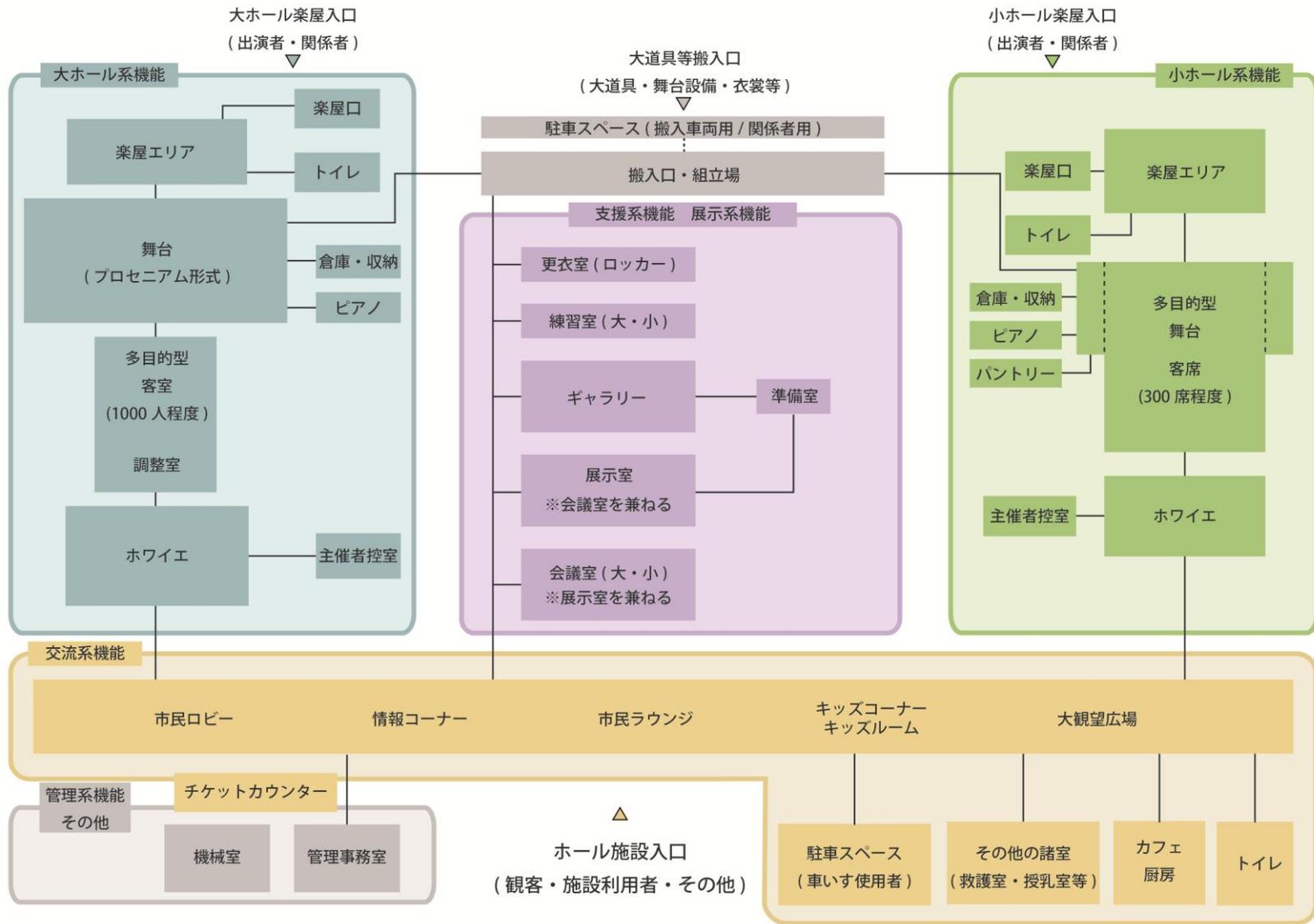
市民会館は、大規模な集会・集客のための施設とするだけでなく、文化芸術活動の拠点として、文化芸術活動を通じた新たなコミュニケーションを生み出し、人が輝くことにより市民生活が活性化し、安来市の将来像につなげるためのまちづくり拠点施設として計画します。

(3) 土地利用・配置計画

- ・市民が利用しやすく効率的な計画敷地の利活用を図る。
- ・明快でわかりやすいゾーニング計画とする。
- ・市民会館は切川バイパス及び安来道路から離れた位置に配置しホールへの騒音影響が少ない位置に計画する。
- ・駐車場は大ホール収容人数(1000人)の半数約500台を確保する。
- ・調整池は駐車場と兼用するため市民会館から離れた場所に配置。
- ・市民会館直近には車いす利用者のための思いやり駐車場を配置。
- ・ロータリー状の車寄せを設け、大型バス等の乗降スペースとする。
- ・北側と南側に出庫専用の出口を設け催事終了時の混雑緩和を図る。
- ・搬入口、演者用駐車場は来客者との動線を明解に分離する。
- ・駐輪場は市民会館北側に設置し、駐車場利用者との動線を分ける。
- ・環境を配慮したバイオマス空調のための熱源をつくるエネルギー棟を計画する。



(4-1)ゾーニング計画(機能構成図)



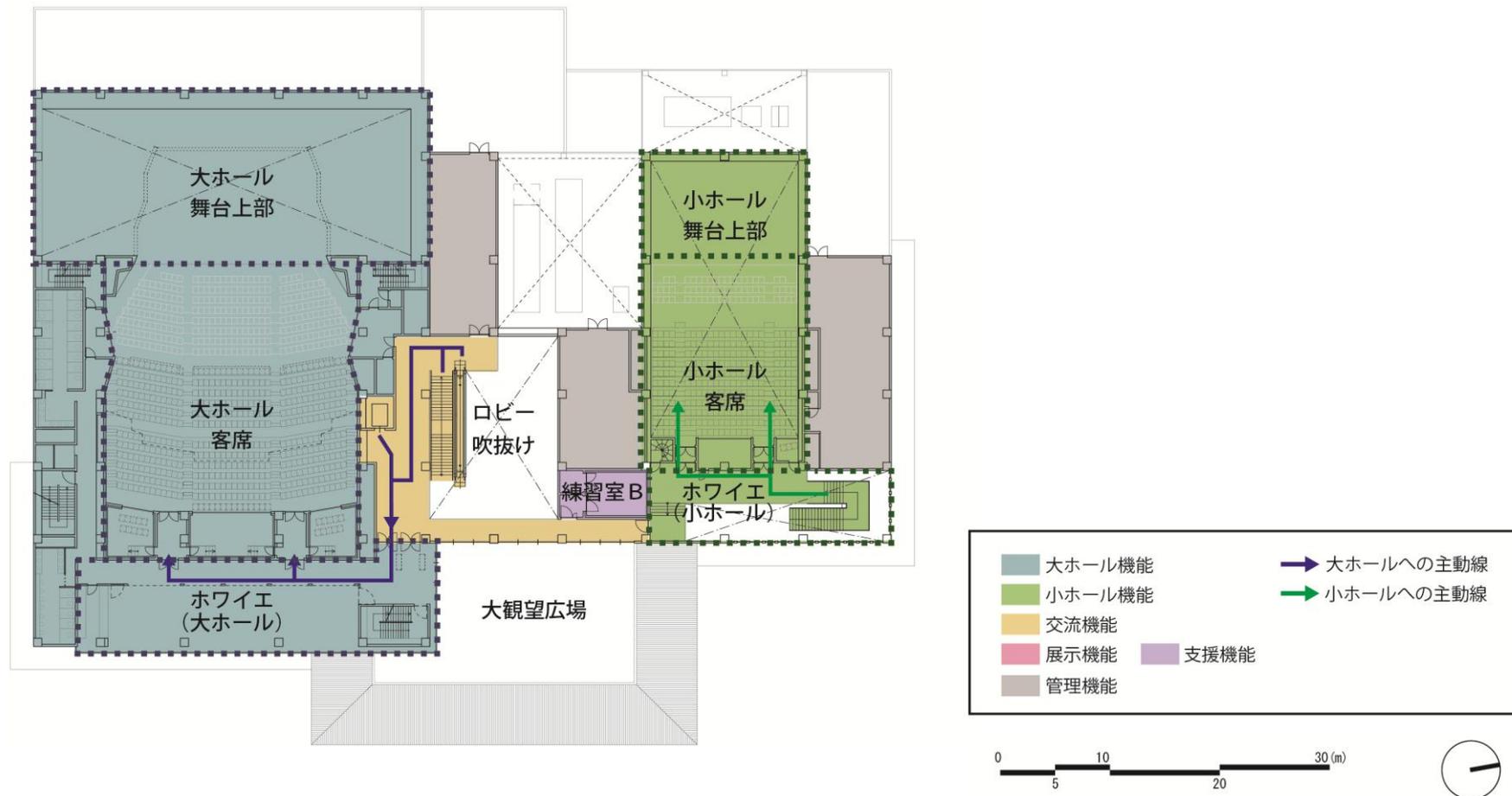
(4-2)ゾーニング計画(1階)

- ・メインエントランスから入って左側を大ホール、右側を小ホールのゾーンとしてそれぞれ集約して配置し、明快でわかりやすい構成とする。
- ・市民ロビーを中心として展示室、会議室、練習室等を配置し、共用部の利用頻度を高める。
- ・展示室と会議室の仕切りは可動間仕切とし、各室の用途変更・広さの変更が可能。



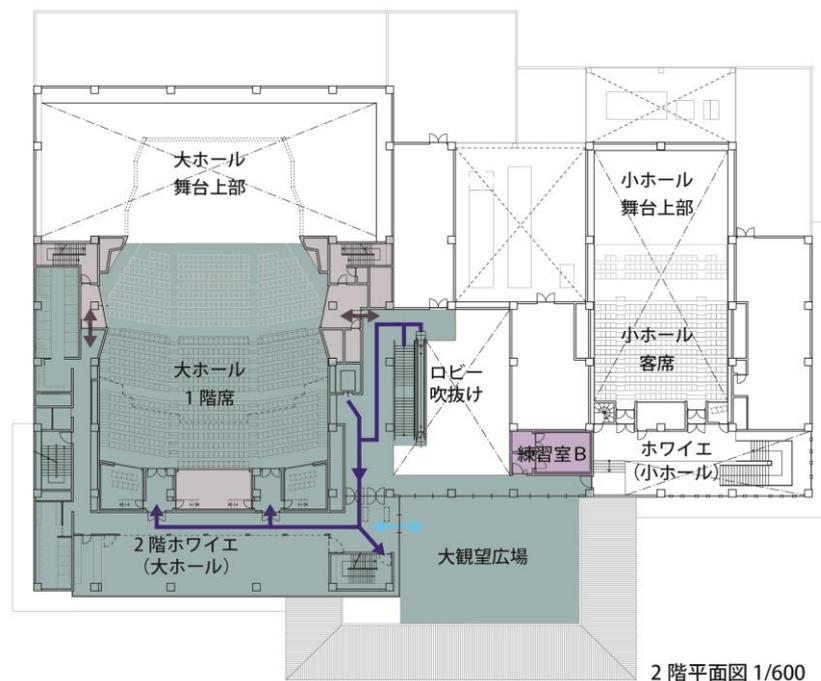
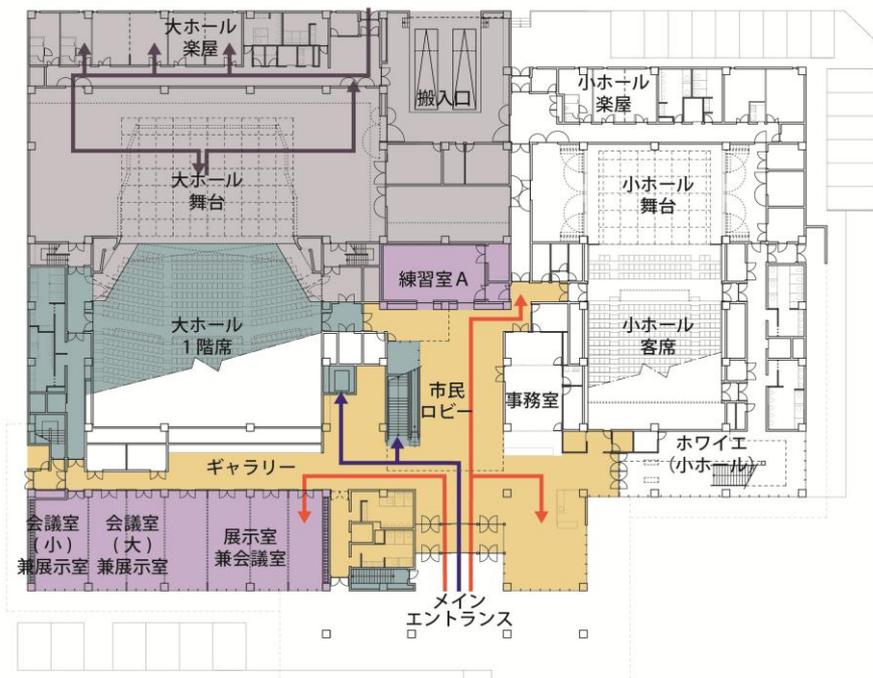
(4-2)ゾーニング計画(2階)

- ・ホールメインのホワイエはそれぞれ2階に設け、ホールの開演・終演時の混雑が1階の他の来館者まで影響しない様に配慮する。
- ・ホワイエの他に大展望広場を設け、敷地東側・大山を望むパンoramaを鑑賞できる場を設ける。



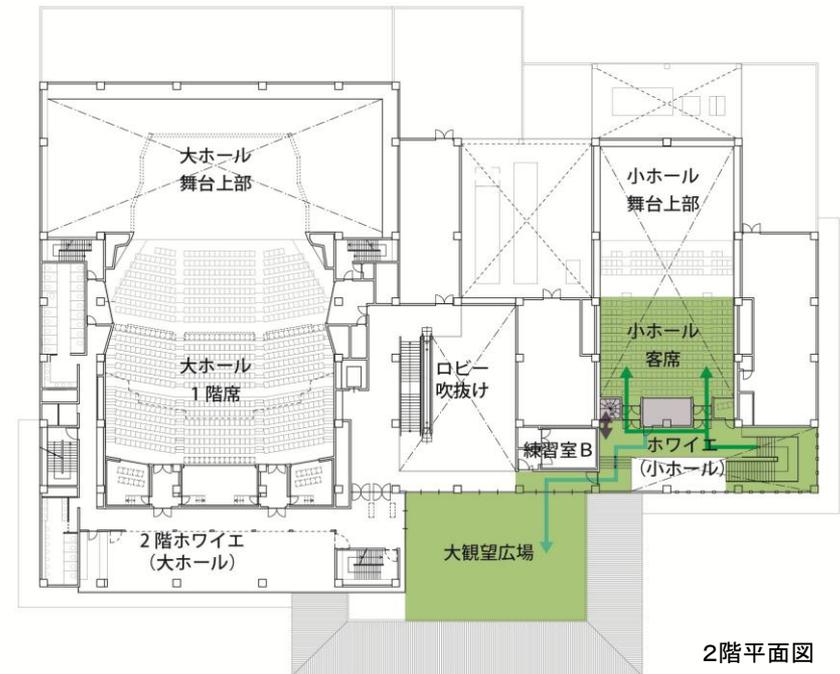
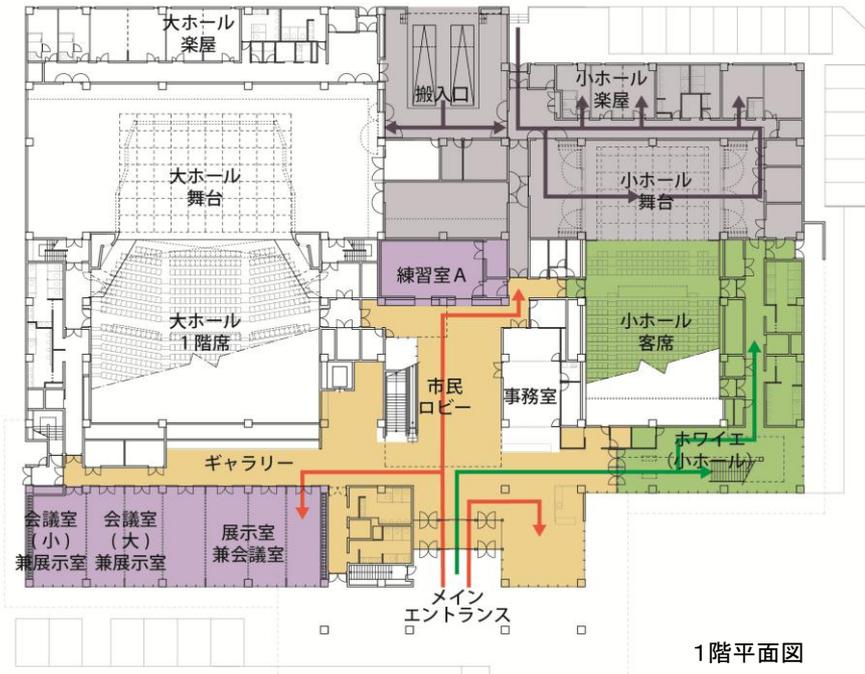
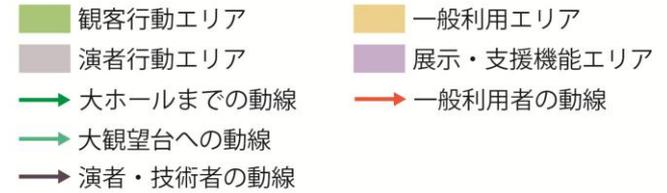
(5-1) 動線計画(大ホール使用時)

- ・来館者に向けて大観望広場を開放せず、大ホール利用者のホワイエの一つとして利用する。
1階のギャラリー、練習室、展示室、会議室などは大ホール利用者でなくても利用可能。



(5-2) 動線計画 (小ホール使用時)

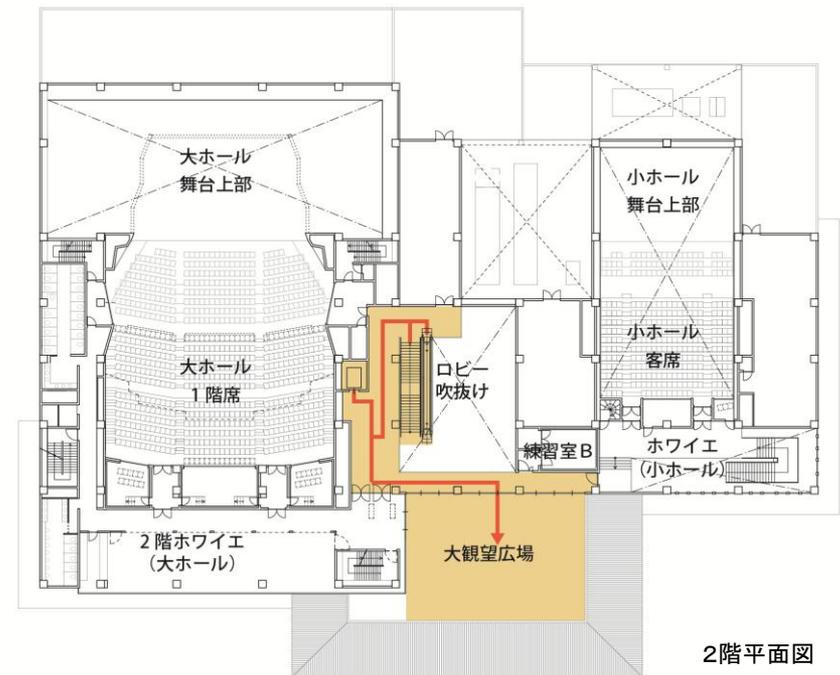
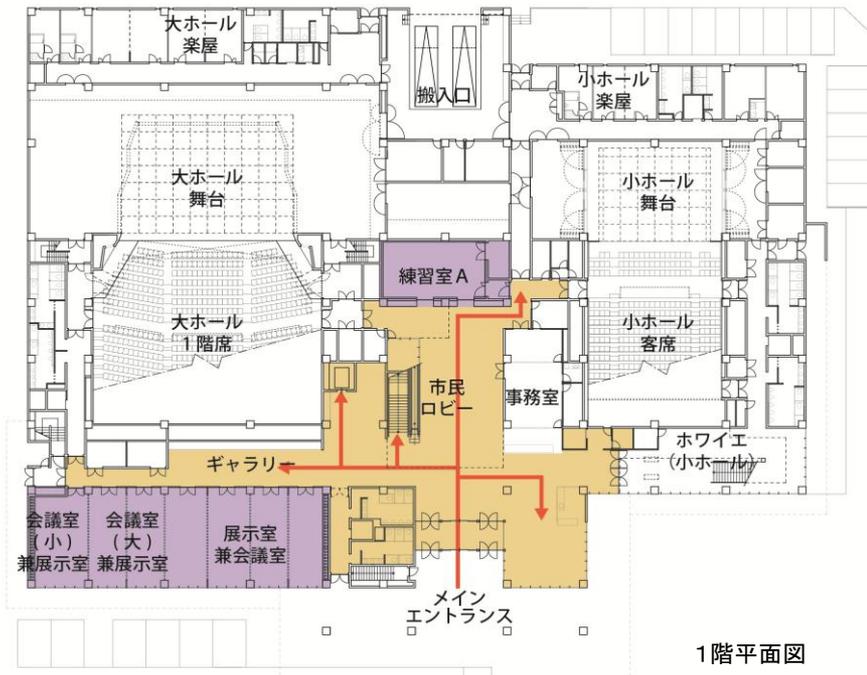
- ・1階のギャラリー、練習室、展示室、会議室などは小ホール利用者でなくても利用可能。大観望広場は一般の来館者に向けては開放せず、小ホール利用者のホワイエの一つとして利用する。



(5-3) 動線計画(ホール非使用時)

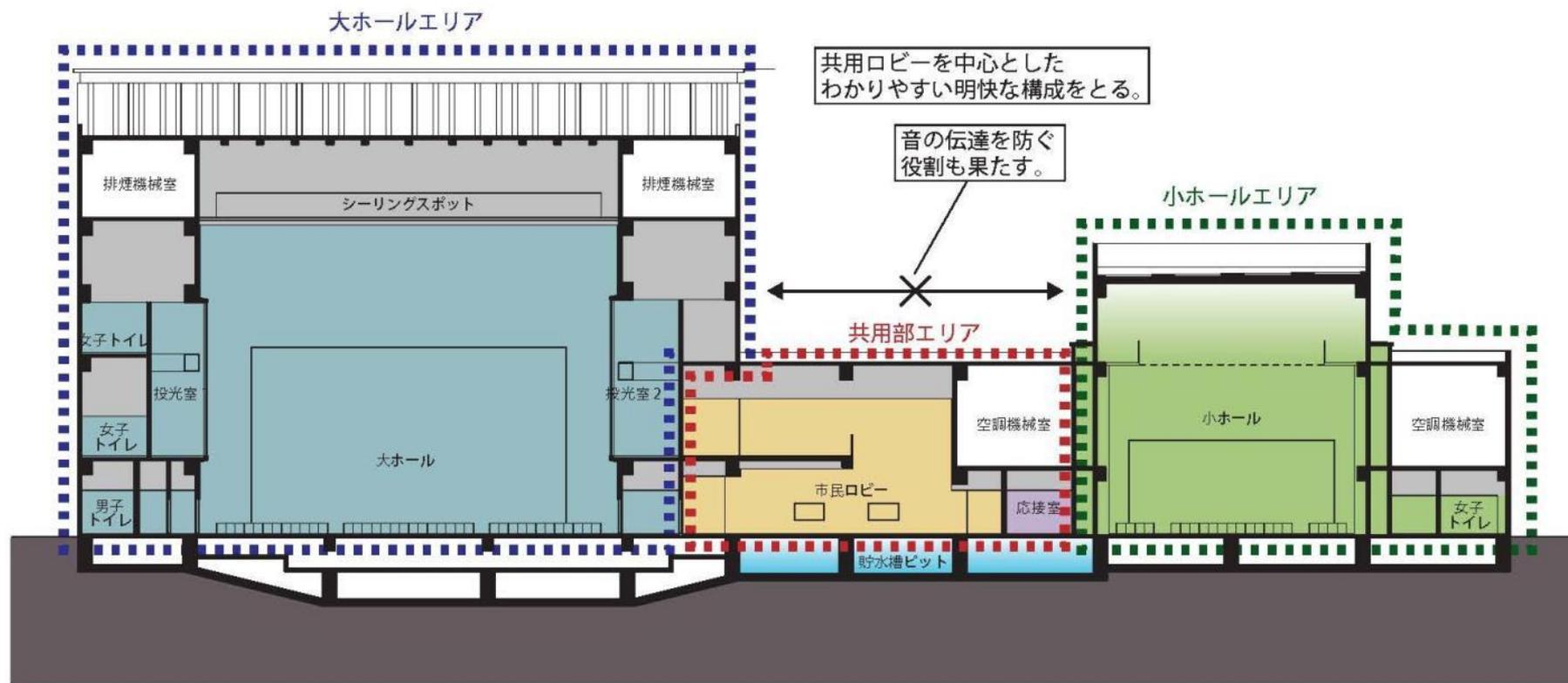
- ・来館者に向けて大観望広場を開放する。大観望広場までは1階市民ロビーのエレベーター、階段、エスカレーターを利用しアクセスする。
1階のギャラリー、練習室、展示室、会議室なども利用可能となる。

- 一般利用エリア
- 展示・支援機能エリア
- 一般利用者の動線



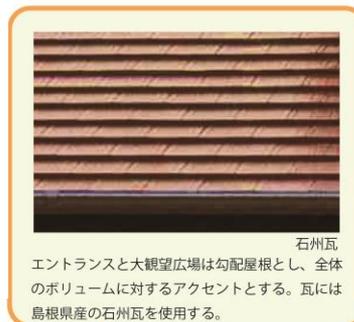
(6) 断面計画

- ・大小ホール間に共用部諸室を配置してホール間の音の伝搬を防ぐ。
- ・市民ロビー下部には貯水槽ピットを設け、雨水流出抑制を図る。



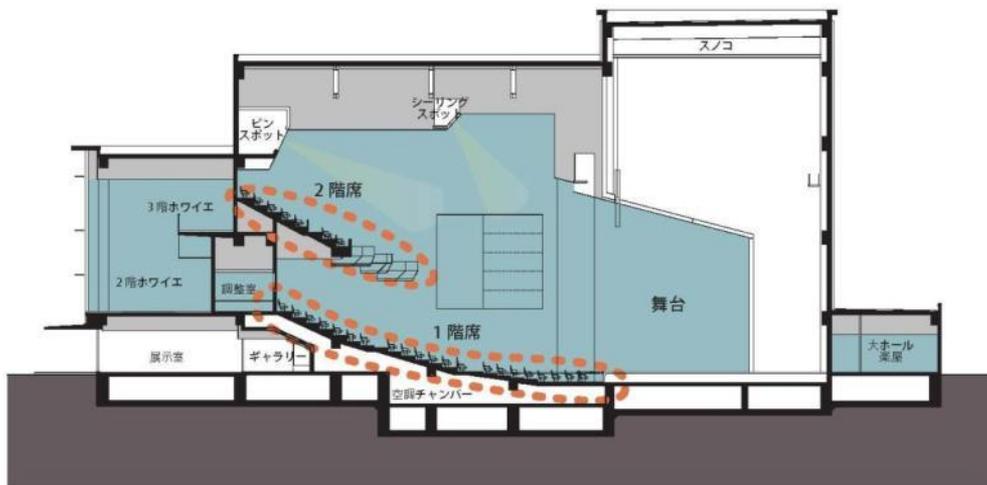
(7) 立面計画

- ・川沿いにできた“まち”を原風景として捉え、せせらぎや竹林をイメージ。
- ・コンクリート打放しによる縦方向のストライプをデザインモチーフとする。
- ・外壁の一部には製鉄をイメージした鋼板をアクセントとして用いる。
- ・1階の共用部にはガラスを多用し、建物内部の活動が外に表れるよう計画する。



(8-1)大ホール計画

- ・シューボックス型の多目的多機能ホールであり、音楽を主目的としたホールとする。
- ・収容人員1,000人程度とし、客席は2層構成とする。
- ・ミュージカル、演劇、ダンス・舞踊や伝統芸能にも対応。
- ・取り外し可能な花道、前舞台を設置。
- ・主舞台間口10間、奥行6間程度。
- ・多目的室と調整室を設置。



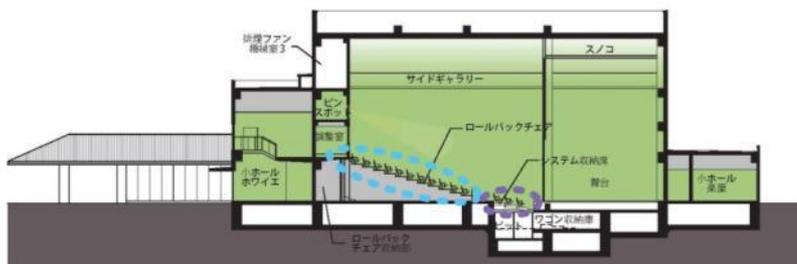
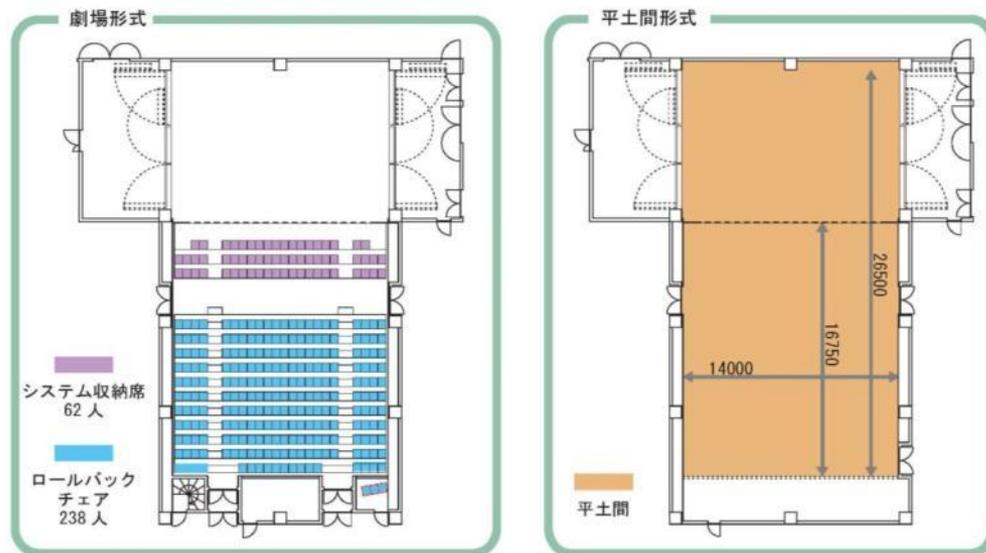
大ホール断面図



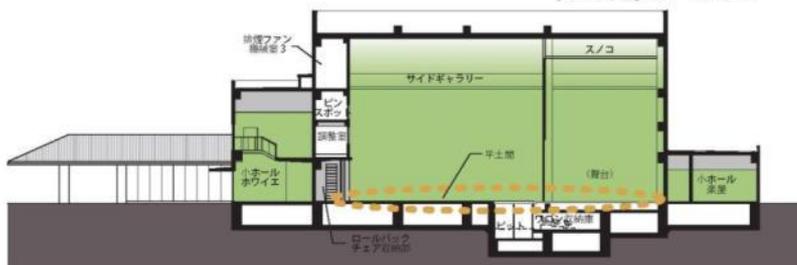
大ホールパース

(8-2) 小ホール計画

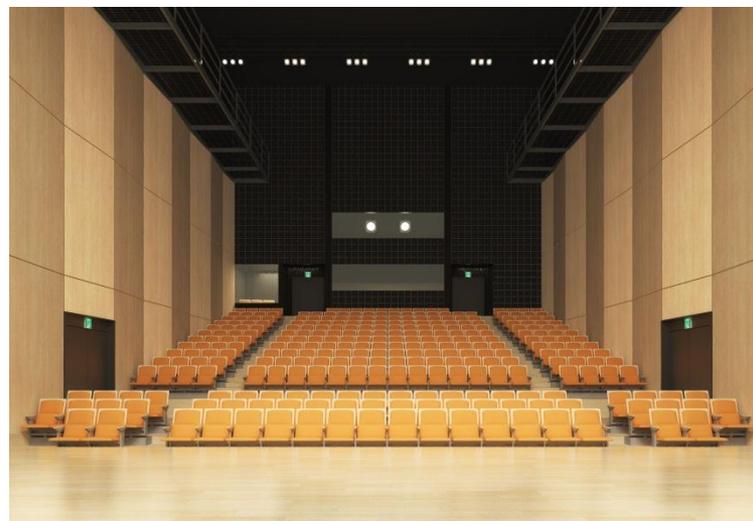
- ・身近な市民活動実践の場としての機能を備える。
- ・収容人員300席程度とし、客席は全て可動式。
- ・客席を収納し、平土間利用も可能。
- ・音楽だけでなく講演やパーティ等、多目的に対応。
- ・大ホールでの公演のためのリハーサル室としても対応。
- ・主舞台間口6間～7間、奥行5.5間程度。
- ・多目的室と調整室を設置。



【劇場形式】小ホール断面図



【平土間形式】小ホール断面図



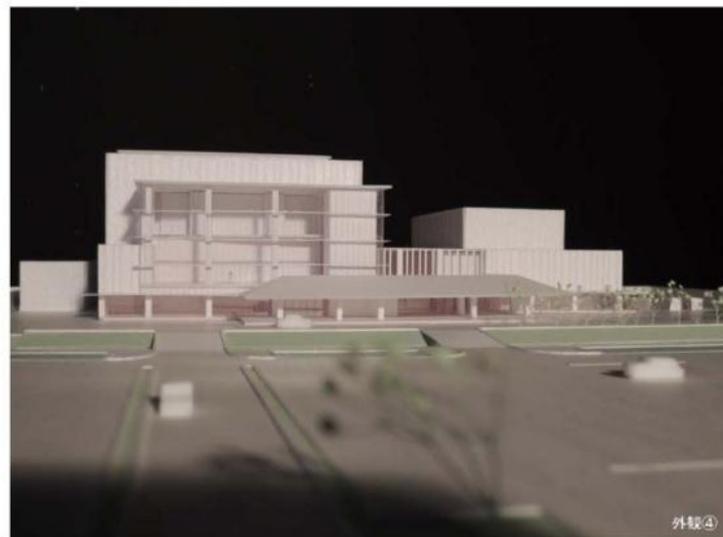
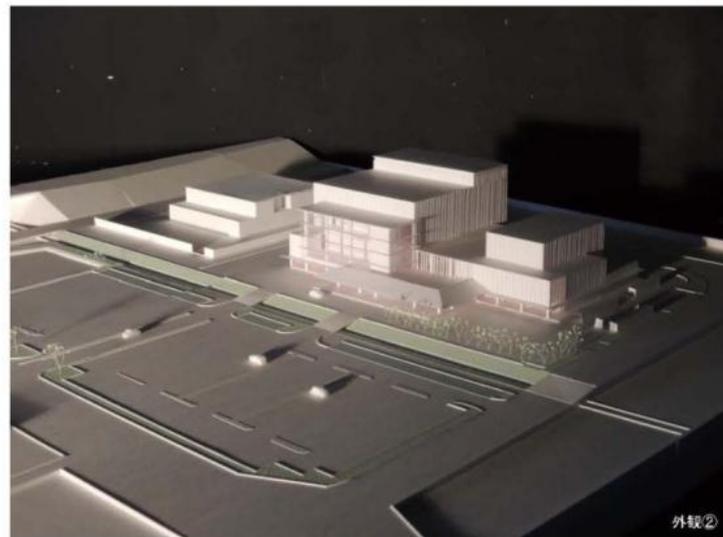
小ホールパース

(9) 交流系施設計画

- ・市民ロビー
2層吹き抜けの空間で交流系施設の中心として位置付ける。
- ・市民ラウンジ
カフェ、待合として利用できるラウンジ、厨房スペースを設ける。
- ・練習室
防音性を確保した音楽・ダンス・演劇等の練習室を大小2室設ける。
- ・ギャラリー
常設の展示ギャラリーを設置。
- ・展示室(兼会議室)
市民の作品発表を中心とする展示や巡回展覧会や回顧展等にも対応。可動間仕切によりレイアウトや部屋の広さが変更可能。会議室としても兼用可能。
- ・会議室(兼展示室)
会議や打ち合わせ等市民が日常の多彩な活動に利用できる。可動間仕切によりレイアウトや部屋の広さが変更可能。展示室としても兼用可能。
- ・広場
屋外の広場は外部での主な活動空間となり、屋外での演劇・コンサートも開かれる。
- ・キッズルーム、キッズコーナー
- ・トイレ(外部からも使用可)、多目的トイレ、授乳室



(10) 施設規模の検討





安来市



本書は基本設計の概要書です。
今後、詳細設計を進めていく中で変更となる可能性があります。